

足立区立千寿小学校

校長 信田 恵介 様

足立区立千寿小学校 開かれた学校づくり協議会

## 令和5年度 学校関係者評価書

### 1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

3つの重点的な取組事項：「学力向上アクションプラン（3つの資質・能力の育成）」「豊かな心の育成」「体力・運動能力の向上と健康の増進」について、組織的な取組を通してバランスよく成果を上げていることを評価する。その一方で、児童の体力・運動能力の向上が、本校の課題である。

児童が「学校は楽しい」と思い登校することは、児童の気力・体力の充実にもつながるものである。「運動が好き、楽しい」と感じる児童が極めて高い利点を生かし、更なる運動機会の確保と質の向上に期待している。

保護者による学校評価アンケート結果は8割超と総じて高い結果を示している。保護者は学校教育に協力的であるので、家庭学習の充実、本に親しむ機会の充実、そしてタブレット等ICT教育の活用と機会の増加に期待している。とりわけ、GIGAスクール構想（区によるICT環境の整備）において、タブレットを活用した授業が確実に定着していること、AIドリル等の活用の効果が確かなものとして出ていることから、今後も引き続き、ICTの実施成果をより一層上げていただくとともに、AI等の活用により、教職員の事務仕事が軽減され、より児童と向き合う時間が確保されることを期待したい。

#### 【重点事項1：学力向上アクションプラン（3つの資質・能力の育成）について】

区調査（2～6年）において、国語・算数の通過率がそれぞれ88.0%、87.3%と、目標とした水準を達成、国調査（6年）の平均正答率の対都平均は、国語が+3ポイント、算数が-1ポイントという結果であった。また、単元テストの結果からも、知識及び技能の確実な定着と、思考力・表現力・判断力等、そして、学びに向かう力・人間性等の育成を目指した取組の成果を見て取ることができた。

2月の区調査問題を活用した定着度確認において、通過率が国語80%、算数83%と、目標とした水準を達成することができたことを評価する。こうした地道な効果測定による学力向上策を継続していただきたい。

#### 【重点事項2：豊かな心の育成について】

「学校が楽しい」と感じる児童が多く、全児童の明るい学校生活の実現が図られている。一方で、両親が共働きの家庭が多い中、家庭との緊密な連携のもと、児童の生活を見守り、コミュニケーションを密にとる必要があると認識している。相談機能や情報共有の一層の充実に努めていただき、引き続き、児童の豊かな心の育成に向け、保護者の理解・協力を得ながら、家庭と連携した継続的な取組に期待している。

#### 【重点事項3：体力・運動能力の向上と健康の増進について】

体力テスト結果には、児童の運動の全体的な低下傾向と二極化傾向が顕著である。運動機会のさらなる確保と質の向上を目指し、児童一人一人の「スポーツ志向」を確実に高めていただきたい。

健康の増進については、よりよい生活習慣の確立、さらにはその継続に向けて、家庭との連携・協働をさらに強化していただきたい。特に、朝晩の歯みがき習慣と運動習慣の確立に努めていただきたい。

### 2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

本校は、児童数増加の影響が多々ある中、限られた施設を有効に活用すべく努力していることを高く評価する。引き続き、登下校時の安全・安心確保等に期待するとともに、ICT等の活用も十分に考慮に入れた子どもファーストな諸行事の実施のあり方を検討していただきたい。

### 3 その他

第5学年及び第6学年児童対象のプログラミング授業に、開かれた学校づくり協議会委員を講師に招聘し、文部科学省が提唱するプログラミング授業を行っている。引き続き、継続していただきたい。